

《担当者名》宮本 雅央 m-miyamoto@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

地域福祉におけるネットワークづくりや組織化の意義と方法およびその実際について学び、基盤づくりを含めた地域福祉の推進方法を理解する。

【学修目標】

- 1 地域福祉の基盤づくりの視点を理解し、地域福祉推進の意義やコミュニティアセスメントを説明できる。
- 2 社会資源の概念や活用方法、開発の過程を想定できる。
- 3 地域福祉を推進するための、福祉行財政の実施体制と果たす役割について理解し、説明できる
- 4 地域福祉の基盤づくりの視点を理解し、地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を想定できる。
- 5 住民参画の方法や地域ネットワーク構築の過程を想定できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 災害時のソーシャルワーク 1	講義の目的・ねらい、進め方及び評価基準の詳細等を理解する。 非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援の基盤となる法制度を理解する。	宮本
2	災害時のソーシャルワーク 2	非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援を展開するための多職種連携や多機関協働のあり方を理解する。	宮本
3	福祉計画の意義、策定と運用 1	各種福祉計画の定義や目的、機能を理解する。	宮本
4	福祉計画の意義、策定と運用 2	福祉計画の策定過程や多機関協働による計画実行段階のあり方と評価方法を理解する。	宮本
5	福祉行財政システム 1	行政の骨格と国・地方公共団体の構造と福祉行政に関わる体制を学習し、地方自治と地域福祉との関係性を理解する。	宮本
6	福祉行財政システム 2	福祉行政に関わる財政や国・都道府県・市町村の役割と権限について学習し、省庁をまたがる地方自治推進の考え方を理解する。	宮本
7	地域福祉の基盤づくり 1	地域福祉の基盤となるコミュニティの捉え方や組織化の考え方を理解する。	宮本
8	地域福祉の基盤づくり 2	住民主体の活動を推進する考え方を学習し、中間的支援組織や側面的支援のあり方を理解する。	宮本
9	地域福祉の基盤づくり 3	CSRの概念や社会的企業（起業）、農福連携などの事業展開を理解し、地域福祉の推進における多機関協働や多業種が協働することの意義を理解する。	宮本
10	地域福祉の基盤づくり 4	社会資源の活用と開発の考え方と実践を理解する。	宮本
11	地域福祉プログラム 1	社会的孤立や社会的排除を克服するための地域福祉プログラムのあり方を理解する。	宮本
12	地域福祉プログラム 2	グループを活用した活動や支援の視点について学習し、様々なプログラムによる特性を理解する。	宮本
13	地域福祉ネットワークづくり 1	地域における多職種ネットワークや多機関協働によるネットワークのあり方、プラットフォームの考え方を学習し、様々な主体が協働する基盤のあり方を理解する。	宮本
14	地域福祉ネットワークづくり 2	様々なプロジェクトを推進するためのチームづくりとそれらの機能を強化する視点を学習し、地域福祉ネットワークにおける組織化の実践を理解する。	宮本
15	地域福祉ネットワークづくり 3	公共財と住民参画の視点を学習し、ケアリングコミュニティを実現するための住民参画の取り組みを理解する。	宮本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		る。	

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

- ・授業への参加状況（20％）、各回での提出課題（20％）、定期試験（60％）により総合的に評価する。
 - ・授業への参加状況は、毎回の講義終了後に提出するリアクションペーパーで確認する。
 - ・その他、時間外の学修や任意提出のレポート課題も評価対象とする。
- 評価基準の詳細については、第1回講義で説明する。

【教科書】

一社）日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編（2021）『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 6 地域福祉と包括的支援体制』中央法規

【参考書】

岩間伸之・原田正樹（2012）『地域福祉援助をつかむ』有斐閣

岡村重夫（2009）『地域福祉論 新装版』光生館

奥田道大（1993）『都市と地域の文脈を求めて』有信堂高文社

西智弘 編著（2020）『社会的処方 孤立という病を地域のつながりで治す方法』株式会社学芸出版社

宮嶋望（2014）『いない人間なんていない 日本一のチーズを作った農場物語』いのちのことば社フォレストブックス

OECD 編著（2010）『社会的企業の主流化 - 「新しい公共」の担い手として』明石書店

【備考】

この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「地域福祉と包括的支援体制」に該当する。教職課程（公民）では、教科に関する科目の「社会学、経済学（国際経済を含む。）」に該当する。

【学修の準備】

- ・各回の内容に対応する教科書の該当箇所を一読し、予習して授業に臨むこと。（予習1時間）
- ・随時、授業内容に関連する文献や関連動画等を紹介する。時間外に文献を読んだり関連動画を視聴するなど理解を深めること。（予習1時間）
- ・定期試験は授業で配布した資料を出題範囲とするため、毎回の講義で配布する資料を保管し復習すること。（復習2時間）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP4 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

DP2 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している